



記者発表日

平成28年6月30日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

危険な災害現場で安全・迅速作業 バックホウの遠隔操作 操作説明会を実施します。

中国技術事務所では、自然災害等が発生した場合の被害拡大防止、早期復旧支援等を目的として、17種37台の災害対策用機械を配備しています。

この度、二次災害の恐れのある土砂崩落現場等で、離れた場所から安全を確保して復旧作業を行う「**遠隔操縦装置（バックホウ用）（通称：ロボQ）**」の操作説明会を実施いたしますのでご連絡いたします。

操作説明会には、「災害応急活動等に関する協定」を締結している中国地方管内の建設会社や維持業者が参加し、緊急的な対応に備え“安全を確保し、より迅速かつ的確に”復旧活動が行えるよう実施するものです。

- 日 時：平成28年7月6日（水）～7日（木）9:30～17:00
平成28年7月8日（金）9:30～12:00
- 場 所：中国技術事務所（広島市安芸区船越南2-8-1）（別紙参照）
- 参加人数：中国管内39社より63名が参加予定。
- その他：
 - ・訓練はすべて公開で実施します。訓練中の撮影も可能です。
 - ・取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡頂きますようお願いいたします。
 - ・雨天でも実施予定ですが、荒天の場合には中止する場合があります。

【問合せ先】



国土交通省

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

副所長（機械）

みやたけ

ひでのぶ

宮武

英信（内線205）

施工調査・技術活用課長

ももさき

ひでき

桃崎

英輝（内線381）

TEL：082-822-2340（代表）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

遠隔操縦装置(バックホウ用)操作説明会 実施イメージ

別紙



○遠隔操縦装置(通称:ロボQ)
 搭載されたカメラから現場映像を送信
 ○操作員
 安全な場所で映像を受信し、コントローラーにより遠隔操作(直接目視操作も可)



バックホウに遠隔操縦装置(通称:ロボQ)を設置することで、災害現場などの危険な箇所で、安全な場所から土砂撤去などの復旧作業を行うことができます。

会場までのアクセス方法



バスの場合
 広島駅12番乗り場から
 海田市方面行き (約20分乗車)
 入川バス停下車 東へ徒歩5分

JRの場合
 広島駅から 山陽本線(上り)
 または
 呉線(上り)
 (約10分乗車)
 JR海田市下車 西へ徒歩15分